

【検討事項の確定について】2020年度 第2回本委員会 【結果の記入方法】創作手続…◎ 合成手続…○ 組み合わせ…● アレンジ…△ 保存手続…保 ラベル追加…△ 検討不可…×

手続	登録付け	参考手続	各条	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討結果
1 世界保健機関 (WHO)	世界保健機関 (World Health Organization: WHO) は1948年4月7日に、すべての人々の健康を促進し、保護するために互に協力を目的で設立されました。WHO本部があるのはスイスのジュネーブで、194の国と地域が加盟しています。(WHO HPより)	ローマ字「WHO」の表現を検討してください。	北海道	●	<ワールド・アメリカ手話> + <国際手話・指文字「H」「O」>	● 組み合わせ  <WHO/世界保健機関A> アレンジの組み合わせ  <WHO/世界保健機関B> 組み合わせ	「世界保健機関 (WHO) は、今ある手話の組み合わせです。 <世界保健機関 (WHO) > ⇒<世界>+<保健>+<機関> あわせて「WHO (世界保健機関) A・B」も検討。 国際的に通じる表現も必要。 <WHO (世界保健機関) A> ⇒<左手で国際手話の指文字「H」>の人差し指に右手の指の人差し指の先をつけて「WH」を作り、残した左手の親指に右手のアルファベット「O」を添える ※北米連帯・東海連帯・中国連帯・西海連帯・九州連帯の案を併用 <WHO (世界保健機関) B> ⇒<国際手話の指文字「W」>+<H>+<O>
			東北	◎	左手で「W」そこに右手で「H」をつけ、「O」		
			関東	◎	「W」(両手を左右から寄せる)「H」「O」		
			北陸	●	世界+守+組織		
			東海	◎	WにHをくっつけ、O		
			近畿	ア	WHOを指文字の形をアレンジ		
			中部	●	WHO 指文字		
			四国	ア	左手/W/に右手指文字/M/を付けHの文字を作り 次に/O/でOを示す		
			九州	●	左手で「W」のまま右手でHO		
2 帰国者接触者相談センター	新型コロナウイルスへの感染が疑われる際に、診療体制等の整った医療機関を適切・確実に受診していただくため、帰国者・接触者相談センター及び帰国者・接触者外来を設置している。 受診調整を行うため、感染を疑う際には事前に帰国者・接触者相談センターへ電話し、受診の予約をとり、連絡を受けた同センターは、新型コロナウイルスの感染の可能性を確認しつつ、帰国者・接触者外来に案内しています。(厚労省HPより)		北海道	●	<帰国者>+<接触>+<相談>+<センター>	<帰国> 合成  <接触> ラベル追加  <帰国者> 組み合わせ  <センター> アレンジ  ● 組み合わせ	まずは、「帰国」「接触」の手話をどうするかを検討。 「帰国」は左手をく日本>にするか「国」にするかの意見がでたが、単語の背景を考慮して(センターの設置は日本)<日本>が採用された。 「帰国」 ⇒<帰国>+<センター>の中心に向けて<帰る日>の連の動作(帰ってくる) 「接触」はコロナの場合、必ずしも人に触れるだけではなくとらえないとの意見もあったが、既に確立されているものを使用。 <接触> ⇒<ふれあい>と同じ あわせて「帰国者」「接触者」も単独使用することもあるので検討。 <帰国者> ⇒<帰国>+<人>+<者> <接触者> ⇒<ふれあい、接触>+<人>+<者>
			東北	●	「コナ」+「相談」+「センター」		
			関東	●	「帰る」+人差し指で前後に向い合わせた両手を水平に動かす(接触)+「人々」+「相談」+「センター」		
			北陸	●	飛行機(帰ってくる)+感染+相談+センター		
			東海	●	帰国+者+接触+者+相談+センター		
			近畿	●	コナ+相談+センター		
			中部	●	着く+会う+疑い+相談+センター		
			四国	●	/国/ + /帰ってくる/ + /人々/ + /会う(指先を近づける) 接触の意味 + /人々/ + /相談/ + /センター/		
			九州	●	飛行機+者+相談+センター		
3 接待を伴う飲食店 (バー・キャバレー)	「接待」は飲食店の接客従事者等によるものを意味するものであること。注した上で、「飲食店」を指し、接客従事者の接客はこれに該当しないものであること。(内閣府事務連絡より) 接待とは、「飲食的雰囲気を出し出すこと」を意味する。「接客」は「接客」の意。接客やサービス等接客を期待して来店する客に対し、その気持ちに応えるため接客者の積極的な行為として相手を選定し3の各号に掲げようとする。接客を高める接客やサービスを行うこと。高い接客は、特定の客又は客のグループに対して単なる飲食行為に通常伴うサービスの提供を超える程度の接客やサービスを提供すること。(風俗営業法 監視庁長官通より)		北海道	△	「両手人差し指をつけ合わせる」+<飲む>+<店>	<伴う・付ける> ラベル追加  <飲食> 合成  <飲食店> 組み合わせ  ● 組み合わせ	9班の案を見ると、客にお酒を注ぐ動作が多いが、<接待>は標準手話がある。(わ7-95) あわせて「伴う」「飲食」「飲食店」も単独使用することがあるので検討。9班の案を見ると「店」の表現が異なる<店>は表現が揃ってない。客の注文の状況、向客(向客)・営業目的の方向性が合う。<伴う・付ける> ⇒<ふれあい>と同じ <飲む>はおよこ (お酒) を飲む表現も出されたが、飲食店では必ずしもお酒を飲むとは限らないこと。コップの表現もなかった。簡潔にするため、<飲食>は両手で同時に(<コップ>を残したまま<食べる>)を表現すること。 ⇒<飲む>+<飲食(コップで)>の両手で<食べる> <飲食店> ⇒<飲食>+<商業(商売)・営業日・店日> <接待を伴う飲食店(バー・キャバレー)> ⇒<接待>+<加える・伴う・付ける>+<飲食店>
			東北	●	「飲む」+「交流」+「店」		
			関東	◎	右手を顔周りでつまみ開いたり「飲む」+「店」		
			北陸	●	隣(並んで)+お酒+店		
			東海	◎	酒を注ぐ+くさ+接待		
			近畿	◎	瓶を注ぐ+飲む+店		
			中部	●	接待+飲み+店		
			四国	ア	両人差し指を近づける(接近している様子) + /飲食 / + /店/		
			九州	●	飲む+注ぐ+くさ+店		
4 持続化給付金	感染症拡大により、営業自粛等により特に大きな影響を受ける事業者に対して、事業の継続を支え、再起の糧としていたため、事業全般に広く使える給付金。 対象は資本金10億円以上の大企業を除く、中堅・中小企業、小規模事業者、フリーランスを含む個人事業者、また、医療法人、農業法人、NPO等。会社以外の法人についても幅広く対象となります。(持続化給付金HPより)		北海道	△	<右手2指の輪を上から引く>+<続く>+<皆へ支払う>+ /金/	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<会社>+<続く>+<給付金>の班があるが給付対象は会社だけではない。 単純には「そのまま(相変わらず)」を使っているが、今ある手話、<続く>にするか。 ⇒<続く>+<ためた>+<給付金> ※四国班の案を参考
			東北	●	「続く」+「支援」+「お金」		
			関東	◎	やや曲げた右手2指をゆっくり前へ「目的」「給付」		
			北陸	◎	続く+給付+お金		
			東海	●	会社+続く+給付金		
			近畿	●	続ける+給付		
			中部	●	潰れないように支援+支払い		
			四国	●	/そのまま/ + /ために/ + /給付金/		
			九州	●	会社+継続+助ける+お金		
5 医療従事者	「従事」…仕事に従うこと。仕事にたずさわること。(広辞苑より) 医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、検査技師、診療放射線技師、作業あん摩マッサージ指圧師、就業はり師、就業きゅう師、救急救命士など。(厚労省HPより)		北海道	●	<医療>+<両手人差し指を立てる>+<者>	<医・医療> 保存手続  ● 組み合わせ	「医療従事者」は、(雇用や契約の有無に拘わらず)医療現場で働いている人たちの総称。 9班の案を見ると、「従事者」の表現が「働く人」と「関係者」に分かれるが、「働く人」の方が意味に合う。 あわせて、「医療従事」「医療法人」などで使われる「医療」は、単独使用する場合があるので、単独ラベルを。 <医・医療> ⇒<医・医療>+<職業・働く>+<人>+<者> ※北米連帯・東海連帯・近畿連帯・四国連帯の案を参考
			東北	●	「医療」+「関係」(回す)+「人々」		
			関東	●	「医療」+「いろいろ」+「仕事」+「人々」		
			北陸	◎	病院+働く+人々		
			東海	●	医療+仕事+者		
			近畿	●	医療+働く+人		
			中部	●	医療+関係+色々		
			四国	◎	/医療/ + /仕事/ + /人々/		
			九州	ア	医療+関係+者		
6 コロナ病床	「病床」…病人のねどこ (広辞苑より) 「コロナ病床」…コロナ感染者が入院する病床		北海道	●	<コロナ>+<病室>+<ベット>	<病床> 組み合わせ  <コロナ病床> ● 組み合わせ	まずは「病床」の表現をどうするか検討。 9班の案を見ると、<入院>+<病室>+<ベット>が多い。意味としては「入院」ではなく、病人の収容のこと。 「病床」の表現はたくさんの方が収容されることから、複数(3回)を表すか、1回にするかで意見が分かれたが、多数決で「1回」にして、手の位置は入院の意味も含めて。 <病床> ⇒<病・病室>+<左手親指に右手2指の背をのせる(入院(手I-25))の指組> <コロナ病床> ⇒<コロナ>+<ベット> ※東海連帯・近畿連帯・四国連帯の案を参考
			東北	○	「コロナ」+「入院」		
			関東	◎	「コロナ」+「入院」(右手2指を2回左掌に付ける)		
			北陸	●	コロナ+入院		
			東海	◎	コロナ+病室+床		
			近畿	○	コロナ+ベット		
			中部	●	コロナ+入院		
			四国	◎	/コロナ/ + /ベット/を繰り返す		
			九州	ア	感染者+ベット		
7 医療崩壊	医療従事者の不足、災害や感染症による急激な患者の増加、社会保障制度の更なる必要などにより、安定した医療サービスの供給ができなくなる。(soo話評書より) 「崩壊」…建築物や組織などが、くずれこわること。(広辞苑より) 感染症などの社会的な拡大によって患者が急増することで、医療従事者や医療器具の不足、病院などの医療機関で受け入れられない患者の増加、医療費の増大などによる崩壊など。医療サービスの提供が困難な状況になること。アメリカ・イギリスなどでは、医療機関が封鎖されたり、医療従事者が大量に感染したため、さらに危機的な状況となる。(Vostra Media: 新型コロナウイルス用語集より)		北海道	●	<医療>+<崩壊(壊す)>	● 組み合わせ	「医療崩壊」とは、医療従事者の不足、災害や感染症による急激な患者の増加、社会保障制度の更なる必要などにより、安定した医療サービスの供給ができなくなること。 9班の案を見ると、「医療」+「崩壊(壊す)」や「医療」+「崩壊」などの表現があるが、本来の意味とは異なる。崩壊の「(壊す)」には「どうにもならない」といった意味があるので、それを使ってはどうか。 ⇒<医・医療>+<上に向けてすばめた両手をぱとぱと置く> ※近畿連帯の案を参考
			東北	保	「医療」+「ダメになる」		
			関東	●	「医療」+「行き止まり」(右手2回当てる)+両手を上向きで開く		
			北陸	●	医+崩れる(割れる)		
			東海	●	医療+壊れる		
			近畿	△	医療+パア(ラベル追加)		
			中部	●	医療+崩産		
			四国	△	/医療/ + /つぶれる/		
			九州	ア	医療+介護+出来ない		
8 経路	感染症の病原体が人体に侵入する経路。大きく分けて経口感染・経気道感染・接触感染に分けられる。伝染経路(広辞苑より) ※「経路」…通過する道すじ。また、たどるべき手続、筋道。(広辞苑より) 「コロナ経路」では、「伝染経路(食中毒などマスクをしないで会話で伝染)」と「接触経路(感染者の手についたウイルスがドアノブや手すりなどに付着して、感染者の手につく)」が主な経路と考えられています。(国立がん研究センター東病院HPより掲載)		北海道	○	<感染>+<行く>+<どこ(何)>	<経路> アレンジ  ● 組み合わせ	まずは、「経路」の表現をどうするかを検討。 <経路> ⇒<経路>の右手人差し指で経路を描いて斜め上に出す <感染経路> ⇒<感染>+<経路> ※北米連帯・四国連帯の案を参考
			東北	●	「感染(受ける)」+「経過」		
			関東	◎	「感染」+「経過」+人差し指で「起こる」		
			北陸	◎	感染+次々(移る+移る+移る)		
			東海	●	感染+経過		
			近畿	○	感染+どうして(得意の同じ形の手を鼻から離す)		
			中部	●	感染+原因		
			四国	ア	/感染した/ + 右人差し指でたどる仕事(地図のアレンジ)		
			九州	●	感染(うつる)+経過		

9	<p>「新型コロナウイルス」などの感染経路がわかっていないこと。特に緊急事態宣言解除後、若い人たちの経路不明者が増加しており、接待を伴った飲食店従業員ら「夜の街」などで感染が急増している。</p>	<p>「不明」については地域により表現がかなり異なると思います。紹介してください。</p>	<p>北海道 ○ 「右手人差し指で前へ曲がりながら出す」 + &lt;不明&gt; 東北 ● 「経過」 + 「不明」 関東 ◎ 「経過」 + 「不明」(左掌を右手人差し指で叩く) 北信越 ● 移る+移る+移る+わがわが(クエスチョンマーク) 東海 ● 経過 + 不明 近畿 ○ 感染経路 + など 中部 ● 原因 + 不明 四国 ア ● 左人差し指を立て 右人差し指でたどる仕草(地図のアレンジ) + /曖昧/ 九州 ● 感染(うつる) + 経過 + 分からない(表情)</p>	<p>● 組み合わせ</p>	<p>「経過」の表現は検討したので、「不明」まどうするかを検討。9班の案を見ると、「不明(不可解)」(わ7-164)があるが、ちょっと意味に合わない。「?」や「曖昧」などもあるが、九州班の「分からない」が意味に合うのではない。</p> <p>⇒&lt;経過&gt; + &lt;分からない&gt; ※九州班の案を参考</p>
10	<p>病原体をもつ人や動物などに直接・間接に接触することによって起こる感染。性感染症や蚊・マシムシなどが媒介する感染症がその例。(広辞苑より)</p> <p>感染症の感染経路のひとつ。皮膚や粘膜の直接的な接触や、医療従事者の手や医療器具、手すりやタオルなどのような物体の表面を介した間接的な接触により、ウイルスや細菌(病原体)が付着することによって生じる感染経路のこと。(Voista Media: 新型コロナウイルス用語集より)</p>	<p>「接触感染」と「飛沫感染」の区別がわかるよう検討してください。</p>	<p>北海道 ● &lt;両手を前後に向い合わせる&gt; + &lt;感染&gt; 東北 ● 「会う」 + 「感染」 関東 ◎ 人差し指で前後に向い合わせた両手を水平に動かす(接触) + 「感染」 北信越 ● びったり寄り添う様子 + 感染 東海 ● 接触 + 感染 近畿 ● タッチ + 感染 中部 ● 付き合い + 移る 四国 ア ● 両人差し指指先を接触させる + /感染させる/ 九州 ア ● 触る(左手杖に右掌重ねる) + 感染(受ける)</p>	<p>&lt;接触&gt; ラベル追加 ● 組み合わせ</p>	<p>まずは、「接触」の表現をどうするかを検討。今ある手話を使った。9班の案を見ると「タッチ」「会う」「付き合い」などが見られる。「濃厚接触者」でも使うので、どちらでも使える表現で。</p> <p>&lt;接触&gt; ⇒&lt;ふれあい&gt;と同じ &lt;接触感染&gt; ⇒&lt;ふれあい・接触&gt; + &lt;感染&gt; ※近畿班の案を採用</p>
11	<p>唾液や喀痰(かたん)の飛沫などによる病気の伝染。(広辞苑) ※飛沫感染の飛沫は日本では、直径5μm以上の大きさのものと定義され、1~2μmに落下。エアロゾルは、空気中に浮遊する。直径0.01μmから100μmの粒子(日本エアロゾル学会)のみはくさくさ。空気感染は漂い続けるため原因が異なる。(株式会社 WORKERS DOCTORS HPより)</p>	<p>「接触感染」と「飛沫感染」の区別がわかるよう検討してください。</p>	<p>北海道 ● &lt;両手を口元から前へ出し、広がる&gt; + &lt;感染&gt; 東北 ○ 両掌で自分に向かい落ちる様子 + 「感染」 関東 ◎ 唾が飛ぶ(口から両手を広げながら前へ) + 「感染」 北信越 ● 口から唾が飛ぶ様子 + 感染 東海 ● 話しかけられる + 感染 近畿 ア ● 口から広げる + 感染 中部 ● 唾 + 移す 四国 ● 両手で口から飛沫が飛ぶ様子 + /感染させる/ 九州 ● 流行る(口元から) + 感染(自分から相手のほうへ)</p>	<p>● 組み合わせ</p>	<p>9班の案を見ると、ほとんどが同じような表現だが向きがバラバラ。能動か受動かは、状況に合わせて向きを使い分けたい。</p> <p>⇒&lt;口元から両手指をバラバラしながら前に広げ&gt; + &lt;感染&gt; (うつす) ※四国班・九州班の案を採用</p>
12	<p>病原体が身体どこかに潜伏して、まだ症状を呈するに至らない期間。一般に、ある原因・刺激が作用してから反応が現れるまでの時間。(広辞苑より)</p> <p>潜伏期とも、ウイルスや細菌(病原体)に感染してから発症するまでの期間のこと。通常の季節性インフルエンザは1~3日、風疹は14日、麻疹は4~6週間とされる。新型コロナウイルスは最大14日程度と考えられている。(Voista Media: 新型コロナウイルス用語集より)</p>	<p></p>	<p>北海道 ○ 「左手を置き、右手(ウイルス)の動く」 + &lt;期間&gt; 東北 ● 「隠れる」 + 「期間」 関東 ◎ 胸の前で右手を左手で隠す + 「間」 北信越 ● 体内+入っている(潜んでいる) + 期間 東海 ア ● 左手を水平に、右手でウイルス 近畿 ア ● 潜伏 + 保存 + 期間 中部 ● 潜伏 + 期間 四国 ● 左掌の下に右掌を隠すようにおく + /間/ 九州 ア ● ウイルス(顕微鏡) + 内 + 間</p>	<p>● 組み合わせ</p>	<p>9班の案を見ると、説明になっている表現が見られるが、「潜伏」は標準手話がある。(新しい手話2014-17)</p> <p>⇒&lt;潜伏&gt; + &lt;間A・期間&gt;</p>
13	<p>「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の患者が感染した日」から「発病した日」の「発病」に「濃厚接触」と判断する目安を2メートル以内の接触から1メートル以内かつ15分以上の接触(「濃厚」・その可能性が強く感じられること。「接触」…近づきふれること、さわること。</p> <p>新型コロナウイルスの感染者と同居や長時間の接触をしたこと、また、家族などで同一空間での生活はもとより、長時間の会食や身体的な接触などが該当する。(医療従事者や感染症患者の接触者なども含まれる)。(Voista Media: 新型コロナウイルス用語集より)</p>	<p>「濃厚」・「濃厚」の区別がわかるよう検討してください。</p>	<p>北海道 ● &lt;両手を前後に向い合わせる&gt; + &lt;強い&gt; + &lt;者&gt; 東北 ◎ 左人差し指を立て、そこに右金指より近く 関東 ◎ 人差し指で前後に向い合わせた両手を水平に強めに動かす(接触) + 「人々」 北信越 ● 会う + 会う + 会う + 人々 東海 ● 濃い + 接触 + 者 近畿 ア ● 会う(回す) + 人々 中部 ● 付き合い + 濃い + 人 四国 ● 両人差し指を接触させ(接触) 手を回転させる 九州 ア ● 会う(手をくっつけて交互に動かす) + 者</p>	<p>● 組み合わせ</p>	<p>「濃厚接触者」の「濃厚」は、可能性が強く感じられる意味。今ある手話を使った。&lt;濃厚&gt; (お5-202) はどうか?</p> <p>⇒&lt;ふれあい・接触&gt; + &lt;濃いA&gt; + &lt;人・人々&gt; ※北海道班の案を参考</p>
14	<p>ある疾患に陽性を示す検査が、その疾患にかかっていない人でも陽性を示すこと。(大辞林より)</p> <p>医学の検査などで、本来は陰性であるのに、誤って陽性と判定されるもの。→偽陽性 (goo辞書より)</p>	<p>「陽性」「陰性」の区別がわかるよう検討してください。</p>	<p>北海道 ○ &lt;陰性(マイナス)&gt; + &lt;間違い&gt; + &lt;陽性(+)&gt; 東北 ● 「感染」 + 「疑問」 関東 ◎ 「偽る」 + 「陽性」 北信越 ● だます + プラス 東海 ● 間違う + 陽性 近畿 ア ● 陽性 (+) + 間違いと指さす 中部 ● 嘘 + 陽性 (+) 四国 ◎ /陽性/を表現し、立てた人差し指を外す 九州 ● プラス + 間違い</p>	<p>&lt;疑陽性&gt; 組み合わせ &lt;偽陽性&gt; ● 組み合わせ</p>	<p>「疑陽性」「偽陽性」がある。「疑う」は陽性の可能性があることから、偽陽性の場合にははっきりと誤りであることを示す必要があるとの意見あり。どちらも検討が必要。今ある手話を使った。</p> <p>&lt;疑陽性&gt; ⇒&lt;疑う&gt; + &lt;+・陽性&gt; &lt;偽陽性&gt; ⇒&lt;嘘&gt; + &lt;+・陽性&gt; ※中国班の案を採用</p>
15	<p>(mutation)膜と膜とに異なった形質が、突然、手紙や封筒に出現。手紙の形質が消失し、それが遺伝する現象。遺伝子の変化に起因する。血球には染色体の形質によるものもあつた。(広辞苑より)</p> <p>「変異」…生物、特に同種の生物の各個体の形質が互いに少しずつ異なること。(広辞苑より)</p> <p>※新型コロナウイルスは、突然変異を繰り返して、毒性や複製能力を強化させているという報告(ウイルスのDNAは一本鎖あり、二本鎖のDNAと比べて突然変異が起こりやすいとされる)。</p> <p>イギリスのケンブリッジ大学の研究チームが2020年4月9日に発表した論文によれば、新型コロナウイルスは突然変異の速度に劣る。中国のウーモリが保有種(感染源)とみられる中国や台湾、日本、アメリカ、オーストラリア、Aから変異したBは武漢市を中心とした中国や近隣諸国、Bから変異したCは、ロシア、フランス、イタリアなどヨーロッパで感染が広がったとされる。(Voista Media: 新型コロナウイルス用語集より)</p>	<p></p>	<p>北海道 ● &lt;突然&gt; + &lt;変わる&gt; 東北 ● 「突然」 + 「変化」 関東 ◎ 「突然」 + 両手2指の指先を合わせ左手をひねる 北信越 ● 突然 + 変化(五本指) 東海 ● 突然 + DNA 近畿 ア ● 遺伝子 + 変わる 中部 ● 突然 + 変わる 四国 ● /突然/ + 両手/違う/ (異常のアレンジ) 九州 ● 遺伝子 + 突然 + 変化</p>	<p>&lt;変異&gt; ラベル追加 ● 組み合わせ</p>	<p>「突然」の表現はあるので、「変異」をどうするか検討。今ある手話を使った。</p> <p>「変異」 ⇒&lt;驚く(世の中)&gt;と同じ 「突然変異」 ⇒&lt;突然&gt; + &lt;驚く(世の中)&gt; + 変わるB ※北海道班・東北班・北信越班・中国班</p>
16	<p>「基礎」…それを前提として事物全体が成り立つようなもの。「病息」…やまい。病氣。(広辞苑より)</p>	<p></p>	<p>北海道 ● &lt;基礎&gt; + &lt;病気&gt; 東北 ● 「基礎」 + 「病気」 関東 ● 「基礎」 →そのまま左手掌を額に付ける 北信越 ● 基礎 + 身についている + 病気 東海 ● 基礎 + 病気 近畿 ● 病気 + 持つ 中部 ● 基礎 + 病気 四国 ● /基礎/ + /病気/ 九州 ● 基礎 + 病気</p>	<p>● 組み合わせ</p>	<p>9班の案を見ると、&lt;基礎&gt;と&lt;基本&gt;の表現があいまいだが、ほとんどが&lt;基礎&gt; + &lt;病気・疾病・疾患&gt;。&lt;基礎&gt;の手話はあるので、それを使うことに。</p> <p>⇒&lt;基礎&gt; + &lt;病気・疾病・疾患&gt; ※北海道班、四国班の案を採用</p>

17	(複眼的)疫学調査	集団を対象として、病気の頻度、その分布に影響する因子を統計学的に研究する学問のこと。(疫学疫学)「疫学」(epidemiology)疫病・事故・健康状態について、地域・領域などの多数集団を対象とし、その原因や発生条件を統計的に明らかにする学問。疫病の流行様態を研究する学問。(広辞苑より)	病気の発生原因・対策を推測するために、疫学を適用し、調査する。疫学調査は、患者発生のために各種検査を利用することによって進め、その結果によって病気の発生は疫病と、考えられる原因との間の因果関係を明らかにし、治療の方法の確立に役立つ方法である。疫学調査では、その疫病性発症して治療することが直接の目的ではなく、その疫病性について有病性・発生率、さらにはいつかの関連要因の推移について調査することを目的とするものである。疫病調査は疫学調査に似て、疫学が応用される。(日本疫学学会疫学辞典HPより)	北海道 ● <病気> + <広がる(たくさん)> + <検査>	● 組み合わせ	「疫学」とは、疫病の流行様態(原因・発生条件など)を研究する学問のこと。<病気> + <広がる(たくさん)>だけでは、意味としては足りない。なぜ、その疫病が広まったのかの表現も必要ではないか。  ●<検査> + <結果・火傷・腫瘍> + <普及・広がる> + <調べ・調査> ※北海道・東海・中国語の素を採録
				東北 ● 「病気」 + 「いろいろ」 + 「調べる」		
18	PCR検査	Polymerase Chain Reaction(ポリマーゼ連鎖反応)法(PCR法)という、遺伝子を増殖する方法である。ウイルスの遺伝子を増殖して検出しています。ちなみにPCR法は、身元遺伝子検出に用いた「リネン」マリスは1993年に「ペーブル」化学賞を受賞しました。(大阪大学疫学病態研究HPより)(※遺伝子は鼻の粘液や唾液等から検出する)	鼻の中に差し込む方法が知られていますが、方法がこれらに変わらうることを考慮ください。	北海道 ○ <病気> + <陰性(-)> + <検査>	● 組み合わせ	9班の案を見ると、北海道語のように意味とアルファベットに分かれる。意味を表す「P」「C」「R」の方がイメージしやすいのでは?  ●日本式アルファベット<P> + 左手<C> (指) + <R> + <調べ> + <検査> ※北海道・近畿・中国語、九州語の素を参考
				東北 ◎ 「P」「C」「R」をまとめて表す「調べる」		
19	サーモグラフィ	赤外線センサーを用いた物体の表面温度分布を計測し、画像化する装置。また、その画像、医療では体表面温度分布を測定し、悪性腫瘍などの診断材料とする。(広辞苑より)サーモ(thermo)・・・熱グラフィ(graphy)・・・画像・書法・記法	「カメラ」の表現にこだわらないでください。	北海道 ○ 「開いた左手5指を上下する」 + <撮る>	● 組み合わせ	9班の案を見ると、体温が上がるような表現が見られる。コロナ関連では体温を同時に感知し画面に表すイメージがあるが、実際には体温だけではない。  ●<体温> + <画像> ※北海道・東海・近畿・九州語の素を参考
				東北 ◎ 身体に中央で「体温」 + 「映像」		
20	公衆衛生	国民の健康を保持・増進させるため、公私の保健機関や地域・地域組織によって行われる組織的な衛生活動。母子保健・伝染病予防・成人病対策・精神衛生・食品衛生・住居衛生・上下水道・環境衛生による塵芥処理・公害対策・労働衛生など。「公衆」・・・特定の個人に限定されない一般の人々。「衛生」・・・健康の保全・増進をはかり、疾病の予防・治療につとめること。(広辞苑より)		北海道 ● <公衆(2008)> + <衛生(辞典Ⅱ)>	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<公衆>の表現にばらつきがある。「新しい単語2008」掲載は『学習辞典Ⅱ』94Pの表現に統一されている。(「公(おおやけ)」と「人々」の合成)  ●<公衆> + <衛生> ※北海道・中国語の素を採録
				東北 ● 「公衆」 + 「衛生」		
21	(アルコール)消毒	殺菌消毒を行うために用いられる液状の薬。エタノールやヨードチンキなどがある。(実用日本語表現辞典)		北海道 ○ <アルコール> + <品>	● 組み合わせ	9班の案を見ると、消毒液を手のひらにつける動作などが見られるが、今ある手話をしたい。  ●<消毒> + <液> ※北海道語を参考
				東北 ○ ボンプを押すしぐさ + 両手で洗うしぐさ		
22	透明マスク	マウスシールド、すでにWHOにマスクに感染を広げない効果があることを認め、マスク着用が世界的に推奨されている。ドイツでは、マスク着用によって新型コロナウイルス感染率の減少が約40%減少したという。口元をおおうことで主に着用者からの飛沫を出さないことを目的に、飲食などの接客業の従事者が自らの飛沫を商品や顧客に浴びさせないために着用することが多い。(YAHOO! ニュースより抜粋)※手話関係者でも利用しやすいを見かけるが、手術用などの場合、口元から顔までしっかりガードするタイプのものもある。		北海道 ● <透明> + <マスク>	● 組み合わせ	9班の案を見ると、マスクの形・マスクの表現は若干異なるが、ほとんどは<透明> + <マスク>。<マスク>の手話があるので組み合わせで、(「透明」は、指先をかすめて通させる)  ●<透明> + <マスク> ※北海道語の素を採録
				東北 ○ 「透明」 + 両手でマスクを型どる		
23	フェイスシールド(フェイスガード)	シールド(shield)・・・盾(たて)、盾形のドローイング、機銃、(盾形の笠のバツ、盾形、保護物、防弾物、機械などの)が、シールド、(盾字を意味する)遮蔽(しやい)物。(Weblio辞書より)		北海道 ○ 「透明」 + 両手で顔の上から下す	◎ 創作手話	「フェイスシールド」には、工場で火の粉をよけるようなものもあることから透明とは限らないとの意見も。9班の案を見ると、2動作の班があるが一発で表せる表現にしたい。  ●<指先を曲げて右の手で顔を覆うように下ろす> ※北海道・北信越・東海・中国語の素を採録
				東北 ○ 少し指先を曲げた右手を顔の前で上から下へ動かす		
24	咳エチケット	インフルエンザをはじめとして、咳やくしゃみの飛沫により感染する感染症は数多くあります。「咳エチケット」は、これらの感染症を他人に感染させないために、個人が咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口元をおおえることです。(障害者HPより)※特に電車などの公共交通機関の中、職場や学校などが集まるところで実践することが重要とされる。		北海道 ● <咳(新IV60氏)> + <エチケット>	● 組み合わせ	9班の案を見ると、肘で鼻を覆うしぐさなどがあるが、それは「咳エチケット」の方法なので、今ある手話を組み合わせで。  ●<咳> + <清潔> + <モラル> + <エチケット> + <遠慮> ※北海道・東海・東海・近畿語の素を参考
				東北 ● 「咳」 + 「エチケット」		



33	コロナ禍	<p>新型コロナウイルスの感染拡大によって生じるさまざまな振(わづ)れのこと。 (Voista Media: 新型コロナウイルス用語集より)</p> <p>【参考】戦争による被害や混乱のことを「戦禍」という。 「禍」…うず、めまぐるしい動きのあるところの害に用いる(広辞苑)</p>	<p>北海道 ● &lt;コロナ&gt; + &lt;混乱&gt; 東北 ● 「コロナ」 + 「迷惑」 関東 ● 「コロナ」 + 「混乱」 北信越 ● コロナ + 混乱(ゴタゴタ) 東海 ● コロナ + 困難 近畿 ○ コロナ + 渦 中部 ● コロナ + 揉める 西四 ● /コロナ/ + /影響(じわじわ広がる様子)/ 九州 ● コロナ + トラブル</p>	● 組み合わせ	<p>9班の案を見ると、&lt;迷惑&gt;や&lt;困難&gt;(＜支障・妨げる＞)を使う班があるが、それ以外はほとんど同じ表現。</p> <p>⇒&lt;コロナ&gt;+&lt;混乱&gt; ※北海道、関東、北信越、近畿、中部、四国、九州班の案を採用</p>
34	第二波	<p>「一波(いっぱ)…」 ① 一つの波。転じて、一つの波紋。 ② 波のように次々と押し寄せる物事の一回目。 (例:「一波のストライキ」など)</p> <p>「コロナ関連」…経済活動が再開した際に、中国や韓国と同様に集団感染をおこし、また新たな波が起ることを懸念されています。</p>	<p>「第三波」の言葉が出てくる可能性もあつたことを考慮してください。</p> <p>北海道 ● &lt;第2&gt; + &lt;広がる&gt; 東北 ◎ 左手「2」右手でグラフをイメージし左上に昇る 関東 ◎ 左手「第2」表し、その上を左手の大きな波が越える 北信越 ● 第二+派(流れ広まる) 東海 ● 第二+波 第三+波 近畿 ◎ 第二+急に増える様子 中部 ● 第二+波 西四 ● /第2/ + /波/ 九州 ● 第二+流行る</p>	● 組み合わせ	<p>9班の案を見ると、折れ線グラフの推移の表現や&lt;波&gt;などが見られるが、再び感染が広がることなので、&lt;普及・広がる&gt;の方が合うのではないかと?</p> <p>⇒&lt;第二&gt;+&lt;普及・広がる&gt; ※北海道、四国、九州班の案を採用</p>
35	終息	<p>物事が終わって、やむこと。(goo国語辞書) (例:「憂鬱(まんえん)していた悪疫が終息する」など) ※参考【収束】…日常生活においては混乱していた物事がいったん収まること。(Weblio辞書より)</p> <p>「コロナ関連」…「収束」は、新薬の開発などで、コロナによる混乱状態がひとまず落ち着く状態をさし、「終息」は、新薬に効果があつたことが明らかになって、新型コロナウイルスの新規発症がなくなったという場合に使います。(できる社人の言葉つかいより)</p>	<p>北海道 ● &lt;ホッとする&gt; + &lt;終わる&gt; 東北 ◎ 広げた両手を中央に寄せながら「終わる」 関東 ○ ゆっくり「終わる」を表し、最後握りこむ 北信越 ● 終わり 東海 ◎ 開いた両手を真ん中あたりにしばむ 近畿 △ ひろがったものが段々終わる様子 中部 △ 消える 西四 ● /〜まで/ + /消える/ 九州 ○ 流行る + 戻る(流行)</p>	△ ラベル追加	<p>9班の案を見ると、東北班、東海班のように、中央にゆっくり寄せながら「終わる」の表現が見られるが、やむ手話を使えないか検討。</p> <p>⇒&lt;終わるB&gt;・&lt;終了&gt;+&lt;同じ&gt; ※北信越班の案を採用</p>
36	アフターコロナ	<p>「after」…あとに、後に (Weblio辞書より) after Corona、ウズコロナ以降、新型コロナウイルスの感染拡大が収束してしばらくの世界。判断を許さず、衛生的な習慣の徹底や一定の行動制限が続くと考えられる。 2020年4月14日に新規感染者数がゼロとなった台湾。感染拡大が収まったと見られる中国や韓国がアフターコロナに移行しつつある。また、日本でも5月25日に全国(47都道府県)の緊急事態宣言が解除され、アフターコロナの段階に入っている。 (Voista Media: 新型コロナウイルス用語集より)</p>	<p>「ウズコロナ」の表現もあわせて検討してください。</p> <p>北海道 ● &lt;コロナ&gt; + &lt;あと&gt; 東北 ○ 左手指先を前に向けて立て、右側「終わる」左側「〜から」 関東 ● 「コロナ」 + 「終息」 + 「今後・後」 北信越 ● コロナ + 終わり + 後 東海 ● コロナ + 終息 + 後 近畿 ● アフターコロナ: コロナ + 終わる + あと ウズコロナ: コロナ + ある + ある 中部 × 西四 ア /コロナ/ + /その後/ 九州 ○ 流行る + 戻る(流行) + 後</p>	● 組み合わせ	<p>9班の案を見ると、「コロナが終わった(終息した)あと」という意味では似たような表現。 &lt;あとA&gt;は右手を少し前に出す表現だが、終息後どれくらいの時期なのかによって出し方を考えたい。</p> <p>⇒&lt;コロナ&gt;+&lt;終わるB&gt;・&lt;終了&gt;+&lt;あとA&gt; (腕の横から右手を少し前に出す) ※北信越班の案を採用</p>
37	新しい生活様式	<p>長期間にわたって感染拡大を防ぐために、飛沫感染や接触感染、さらには空気感染を防ぐための対策を、日常生活に定着させ、持続させなければなりません。それを「新しい生活様式」と呼びます。(厚生省HP)</p>	<p>北海道 ● &lt;新しい&gt; + &lt;生活&gt; + &lt;様式(辞典1)&gt; 東北 ● 「新しい」 + 「形」 + 「生活」 関東 ● 「新しい」 + 「生活」 + 「方法」 北信越 ● 新+生活+様子 東海 ● 新しい+生活+方法 近畿 ● 新しい+生活+習慣 中部 ● 新しい+生活+方法 西四 ● /新しい/ + /生活/ + /方法/ 九州 ● 新しい+生活+形</p>	● 組み合わせ	<p>9班の案を見ると、&lt;新しい&gt;+&lt;生活&gt;+&lt;方法&gt;+&lt;様式&gt;という手話は既に確定されている。&lt;目標&gt;+&lt;戦略&gt;とするか、&lt;戦略&gt;+&lt;目標&gt;とするかで意見が分かれたが、ロードマップの意味は、目標に向けた過程を指すことから、&lt;目標&gt;+&lt;戦略&gt;に。 &lt;目標&gt;は左手を的にみたてた表現も出ていたが、&lt;めざす&gt;の意味をさむ左手人差し指を立てる表現を採用。</p> <p>⇒&lt;新しい&gt;+&lt;生活&gt;+&lt;形B&gt;・&lt;様式&gt;・&lt;パターン&gt; ※北海道、東北、九州班の案を採用</p>
38	ロードマップ	<p>企業が今後予定している製品の見とおしを順番に並べたもの。あらかじめ予定されており、随時変更される。技術者や関係者にとっては業界の動向を知る貴重な資料となる。(ロードマップ辞書より)</p> <p>※「コロナ関連」…東京都では「休業継続とロードマップ」新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ」などを発表している。</p>	<p>「時系列」がポイントです。数日間、数ヶ月間、数年間で作られることが多いでしょう。</p> <p>北海道 ア 開いた左手を曲がった右手指先を2回ほらう(文を書くイメージ) 東北 ◎ 前方に2〜3回区切りをつけ+「計画」 関東 ◎ 「計画」+「順番」の右人差し指を一気に下までおろす 北信越 ● 今後+見通し 東海 ● 目標+計画を繰り返す 近畿 ◎ 人差し指を立てて、線をだんだん引く 中部 ● 計画+次々進む 西四 ● /流れ/ + /計画/ 九州 ア 見通し+方向B</p>	● 組み合わせ	<p>9班の案を見ると、&lt;計画&gt;の表現が見られるが、少し弱い。短期・長期の時系列で作られるイメージの表現がないか検討。</p> <p>&lt;戦略&gt;という手話は既に確定されている。&lt;目標&gt;+&lt;戦略&gt;とするか、&lt;戦略&gt;+&lt;目標&gt;とするかで意見が分かれたが、ロードマップの意味は、目標に向けた過程を指すことから、&lt;目標&gt;+&lt;戦略&gt;に。 &lt;目標&gt;は左手を的にみたてた表現も出ていたが、&lt;めざす&gt;の意味をさむ左手人差し指を立てる表現を採用。</p> <p>⇒&lt;目標&gt;+&lt;戦略&gt; ※東海班の案を参考</p>
39	インフォミック	<p>英語: infodemic、情報を意味するインフォメーション(information)と、流行を意味するエピデミオ(epidemiology)を組み合わせた造語。噂やデマなどを含む大量の情報が氾濫し、社会に影響(主に悪影響)を及ぼすこと。 特に、インターネットが普及した現代では、情報のやりやが盛んなこと、不特定多数への拡散のしやすさなどから、インフォミックが起りやすいといえる。 世界保健機関(WHO)が2020年2月2日の発表で、実際にインフォミックという言葉を使い、情報性の高い情報が取り扱われること、人びとの生活や生命に大きな影響を及ぼしかねないことを警告した。 (Voista Media: 新型コロナウイルス用語集より)</p>	<p>北海道 ◎ &lt;情報&gt; + &lt;右手2指を口元から前へ回転する&gt; + &lt;知らせる(報告)&gt; 東北 ● 「情報」 + 「派生」(ハンデミック同様) 関東 ◎ 「情報」 + 「放送」の形で右手を数回前に開いて出す 北信越 ● 悪い+広まる 東海 ア 情報+ハンデミック 近畿 ア 情報が流れる様子 中部 ● 嘘+流れる 西四 ア 両手指先を上下左右で合わせる(でたため) + 広がる様子 九州 ア 情報+トラブル+流行る</p>	● 組み合わせ	<p>「インフォミック」とは、噂やデマなどを含む大量の情報が氾濫し、社会に影響(主に悪影響)を及ぼすこと。 9班の案を見ると、近い表現はあるが少し足りない。この場合は、表情や音節で扱うより、形を表現する方がよいのではないかと。 混乱が広がる様子で表せる。&lt;ハンデミック&gt;と類似の手話の案も出されたが、多数決で却下となった。 &lt;広がる&gt;には&lt;流行る&gt;の意味もある。</p> <p>⇒&lt;情報&gt;+&lt;派生&gt;+&lt;普及・広がる&gt; ※九州班の案を採用</p>
40	通商手話通訳サービス	<p>スマートフォンやタブレット端末を用いて、テレビ電話(Skype)を使用し、(社)通商手話通訳協会が提供する手話通訳者が遠隔地へ手話通訳を行うサービスです。 通常の手話通訳と異なり、手話通訳者が聴覚障がい者が通訳する必要はありません。場所や時間を問わず、迅速な手話通訳サービスの提供が可能です。 また、感染症や災害等により、手話通訳者の派遣が困難な状況においても、手話通訳サービスを提供することが可能です。(大分県中)より)</p> <p>※スマートフォンなどを持っていない人、サービス利用ができない人、音声利用のタブレット端末などを用意する自治体もある。</p>	<p>北海道 ○ 「右手の指先を前へ出し、左へ曲がる」+&lt;手話通訳&gt;+&lt;サービス&gt; 東北 ◎ 右手で前方、次に左に動く+通訳 関東 ● 小指側で右手立て前に出し直角に左へ折れる(遠隔)+「手話」+「通訳」+「サービス」 北信越 ● 遠隔(くの字に曲がる)+通訳+サービス 東海 ● 遠隔+通訳+サービス 近畿 ● 遠隔+手話通訳+サービス 中部 ● 遠隔+手話+通訳+サービス 西四 ● 手を斜め前に動かし、左に曲げる(遠隔) + /手話/ + /通訳/ + /サービス/ 九州 ● 曲がる+通訳+サービス</p>	<p>&lt;通商&gt; アレンジ</p> <p>&lt;通商手話通訳サービスA&gt; ● 組み合わせ</p>	<p>まずは「通商」の表現をどうするか検討。 通商はこれまで様々な場で「通商」の手話を使ってきており情報等でも馴染みがあることから手話通訳を介する場合「通商」とするが、通商事業者の命、命と生活の関わりの中でメッセージが異なるため、通商、&lt;通商&gt;の表現を作成。</p> <p>&lt;通商&gt; ⇒&lt;場所&gt;+&lt;通商&gt;の合成(＜劇場(2012-35)＞の動作目)</p> <p>&lt;通商手話通訳サービスA&gt; ⇒手を左に向けた右手を前に通商のまま左に通商の+&lt;手話通訳&gt;+&lt;サービス&gt;(左手は4指) ⇒(動作目は、指平との位置関係によって動かし方が変わる場合もある) ※北海道、関東、北信越、近畿、中部班の案を採用</p> <p>&lt;通商手話通訳サービスB&gt; ⇒&lt;通商&gt;+&lt;手話通訳&gt;+&lt;サービス&gt;(左手は4指)</p>

